

平成 28 年 7 月 1 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 開示担当 小竹 康博  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## GL、アセアン諸国制覇に向けて飛躍を期待 ～Investor Guide 紙 2016 年 6 月号掲載記事より～

当社の重要な子会社であります SET(タイ証券取引所)上場の Digital Finance 会社 Group Lease Public Company Limited(以下、「GL 社」といいます。)が、Investor Guide 紙 2016 年 6 月号に掲載されました。当該記事を翻訳いたしましたので、下記にその和訳をご紹介します。

(以下、Investor Guide 紙の和訳)

アセアン諸国でデジタル・ファイナンス事業を展開するグループ・リース株式会社 (GL) は、経営陣を Fin Teck Expanding Digital Finance に改編した。長期に渡る経営手腕を買われ、会長の実弟である此下 竜矢氏が執行役会議長に就任。アセアン諸国制覇に向けて、力を尽くした飛躍が期待される。



ついに GL は、日本の J トラストグループと協力してインドネシア市場に進出した。インドネシアは、人口 2 億 5000 万を有する、アセアン諸国最大の市場。これに先立ち GL は、事業をカンボジア・ラオスへと拡大し、飛躍的な貸付額の増加と、過去最高益を連続で更新するという、大きな成功を果たしている。



J トラストは、日本を代表するファイナンスグループで、東京証券取引所に上場する企業である。複数の金融事業に従事しており、インドネシアに 62 支店を有する J Trust Bank のオーナーである。

GL の会長兼最高経営責任者である此下益司氏は、今回の J トラストとの事業提携は、戦略的に重要な関係を構築し、双方にとって有益であると述べた。J Trust Bank は、インドネシアで預金集めにおける許可証を持っており、資金調達を担う。GL は、インドネシアにおいて共同出資の会社 GLFI を設立し、調達された資金を最高の効率で運営する。GL が顧客への貸付を行うために開発したデジタルファイナンスのツールやプラットフォームを活用するのである。

インドネシアに設立された共同出資の新会社 GLFI であるが、GL が 65%、JTA が 20%、ローカル投資家が 15%それぞれ出資している。同社は、競争が激しいためにオートバイを対象とする貸付は行わず、農耕機械、ソーラーパネル、電気製品を対象とした貸付を行う。GL は当該貸付サービスをカンボジア、ラオスで既に展開しているが、インドネシアでは、家屋の修理、農地や倉庫の改善など、人々の生活向上に関する貸付に重点を置く。

GL の執行役会議長である此下竜矢氏は、親会社であるタイの GL 経営者について、効率の良いマネージメントをしてくれた結果、タイの貸付ポートフォリオの質が改善を続けており、年初に 10%以上だった NPL 率が、現在 6.5%に下がっている、と述べた。

昨年末における GL のタイの貸付額は総額 91 億 4700 万バーツ。その国別比率は、タイが 40%強、カンボジアが 25%、ホールディング会社があるシンガポールが 30%、残りがラオスだった。今年の目標は、前年比 30-40%増である。特にカンボジアは、今年の貸付額が 2 倍に、ラオスは 3-5 倍に拡大する見通しである。オートバイ、クボタのトラクター、ソーラーパネルの需要が大きく増加していることが背景にある。

以上をまとめると、アセアン諸国でデジタル・ファイナンス事業を展開するグループ・リース株式会社 (GL) は、経営陣を **Fin Teck Expanding Digital Finance** に改編した。そして日本の J トラストグループと提携し、アセアン最大の市場であるインドネシアに進出。今後も注目していきたい企業である。特に GL の株価は急上昇し、新しい目標に突入している…。



以上